

フルミストは生ワクチン（弱毒化インフルエンザワクチン）を鼻腔内に噴霧して接種するワクチンです。

安全に接種を受けていただくため、以下の内容をご確認ください。

【接種できない方（接種禁忌）】

以下に該当する場合はフルミストを接種できません。

- ・ 2 歳未満、または 19 歳以上の方
- ・ インフルエンザワクチン成分に対し重度のアレルギー、アナフィラキシー歴がある方
- ・ 重度の免疫不全である、もしくはその疑いがある方
- ・ アスピリン服用中の方（※フルミスト接種後 4 週間はアスピリン服用禁止）
- ・ 抗インフルエンザ薬を服用中の方
- ・ ギラン・バレー症候群に罹患したことがある方
- ・ 妊娠中の方、妊娠の可能性のある方、授乳中の方
- ・ 明らかな発熱がある、鼻汁・鼻閉がひどいなど体調がすぐれない方

【接種に注意が必要な方】

以下に該当する場合は、接種前に医師へご相談ください。

- ・ 慢性疾患（心臓・肺・肝臓・腎臓、喘息などの呼吸器疾患、糖尿病、貧血、神経疾患、免疫不全など）
- ・ ゼラチン含有製剤又はゼラチン含有の食品に対して、ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難、血管性浮腫等）等の過敏症の既往のある方
- ・ 鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対してアレルギーを呈するおそれのある者
- ・ 過去にけいれんの既往のある方
- ・ 5 歳未満で喘息の治療を受けている方
- ・ 過去 1 年以内に喘息発作があった方、または喘息発作を繰り返している方

【併用禁忌・併用注意の薬剤】

フルミストは生ワクチンであるため、免疫を抑える薬や抗ウイルス薬との併用に注意が必要です。

◆併用禁忌（使用中は接種不可）

●副腎皮質ステロイド（全身投与）

- ・プレドニゾロン 等（特に長期間・大量投与では免疫抑制が強く注意）

●免疫抑制剤

- ・シクロスポリン（サンディミュン、ネオーラル）
- ・タクロリムス（プロGRAF）
- ・アザチオプリン（イムラン）
- ・JAK2 阻害薬（ゼルヤンツ、オルミエント、スマイラフ、リンヴォック、ジセレカ）

【免疫抑制薬を使用する主な疾患】（例）

臓器移植後	腎移植、肝移植、心臓移植、肺移植
自己免疫疾患・膠原病	関節リウマチ、SLE、MCTD、皮膚筋炎、多発筋炎、強皮症、シェーグレン症候群、ベーチェット病
血液疾患	再生不良性貧血、血管炎、ITP、溶血性貧血
炎症性腸疾患	潰瘍性大腸炎、クローン病
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎（中等症～重症）、乾癬
呼吸器疾患	重症喘息、サルコイドーシス
神経疾患	多発性硬化症、重症筋無力症
腎疾患	ネフローゼ症候群、IgA 腎症

●抗インフルエンザ薬（ワクチン効果を阻害）

- ・オセルタミビル（タミフル）
- ・ザナミビル（リレンザ）
- ・ラニナミビル（イナビル）
- ・バロキサビル（ゾフルーザ）

→ 接種前 48 時間～接種後 2 週間は原則使用禁止

【その他の注意点】

- ・接種後 1 週間程度、鼻汁が増えたり、軽い咳が出たりする場合があります。
- ・接種当日の激しい運動は避けてください。
- ・発熱、呼吸苦、強い咳などの症状が出た場合は速やかに医療機関へ相談してください。
- ・同居家族に重度免疫不全者がいる場合は、ウイルス伝播の可能性があるので接種可否を相談してください。

接種後の副反応・合併症

副反応・合併症	分類	発生頻度の目安
鼻水・鼻づまり	よくみられる	20～40%
咽頭違和感	よくみられる	10～20%
軽い発熱	時々みられる	5～10%
頭痛	よくみられる	10～20%
倦怠感	時々みられる	5～10%
咳	時々みられる	約 5%
悪心	時々みられる	数%
筋肉痛	時々みられる	数%
喘息症状の悪化	まれ	1%未満
中耳炎	まれ	1%未満
アナフィラキシー	非常にまれ	0.0001～0.0005%
ギラン・バレー症候群	非常にまれ	数百万人に 1 人以下

※ 強い鼻閉や高熱、呼吸困難などがある場合は医療機関へご相談ください。